





# 急性胃腸炎 の患者さん (入院診療計画書)

患者ID: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_ 病棟: \_\_\_\_\_ 病室: \_\_\_\_\_  
 患者氏名: \_\_\_\_\_ 病名: 急性胃腸炎 症状: 腹痛 下痢 嘔吐 低血糖  
その他 ( \_\_\_\_\_ )

経過	入院日 ( / )	退院日 ( / )
患者目標	入院して安静にします 	嘔吐が消失し、水分や食事が十分に取れること、全身状態が安定していることが確認できれば退院可能です
治療・処置	点滴をします 1日3回程度、体温、呼吸、心拍数などの測定を行います 必要がある場合には、血糖値の測定を行います お熱が高く、つらい場合には解熱剤を使用することができます (解熱剤の使用間隔は6時間以上です) 	輸液治療を終了できるか検討します 
活動	基本的にベッド上で過ごして下さい トイレまでの歩行は可能です	基本的にベッド上で過ごして下さい トイレまでの歩行は可能です
食事	医師が説明します	嘔吐が消失していれば、医師の指示により軽食から開始します
清潔		
説明・指導	<input type="checkbox"/> 救急外来で、今後の経過の予測、および、経口補水療法についてお話しします <input type="checkbox"/> 褥瘡対策に関する計画の必要性について評価します (有・無) <input type="checkbox"/> 特別な栄養管理の必要性について評価します (有・無) <input type="checkbox"/> 必要な場合、抑制をさせていただきます <input type="checkbox"/> 病棟内の説明をします 	<input type="checkbox"/> 退院可能かどうか、また、食事について説明します <input type="checkbox"/> 退院される方には再度、受診をした方が良い状態について説明します
主担当医氏名: _____ 印 _____ 主担当医以外の担当者: _____ _____ 年 月 日 上記の説明を受けました。 患者・家族サイン: _____ (続柄) _____		メモ: _____ _____